結核定期健康診断報告書

世田谷保健所長 あて

実施月 ■■年■■月

健康診断を実施した時期を記入

報告年月日 ■年■月■日

提出日を記入

所在地	世田谷区〇〇■—■—■			
医療機関名等	〇〇クリニック			
連絡先	担当者名	北沢 三郎	電話	(〇〇〇〇) ■■■■

報告内容について、お尋ねすることがあります。
回答できる方のお名前・電話番号を記入してください。

【結核健康診断の検査項目について】

①が結核健康診断の中で一般的に行われる検査です。②～③を実施することは稀です。また、「聴診のみ」のように結核の確定診断ができない検査は報告の対象となりません。

① X線検査

胸部のレントゲン写真の撮影。肺の状態を確認し、発病の有無を調べる。

② 喀痰検査

痰の中に結核菌が存在するかを確認し、排菌の有無を調べる。
(肺がんの喀痰検査とは別の検査です。)

③ QFT 検査・T-SPOT 検査 (IGRA 検査)

採血検査。結核に感染したときにできる抗体の量を確認し、感染の有無を調べる。

定期健康診断を実施すべき者の人数。
長期間にわたって勤務していない者(産休・長期休暇等)を除く。

結核健康診断を受診した実人数。
一般の健康診断を受診したが、結核の検査項目を受診しなかった者は除く。

検査項目ごとに受診人数を計上する。
2項目以上受診した場合は、それぞれに計上する。

「結核」と診断された者の人数

QFT 又は T-spot のいずれかが陽性となり、治療のための服薬を行っている人数

経過観察等と診断された者の人数

<記入にあたって>

1. 該当欄に人数を記入してください。
2. 潜在性結核感染者とはQFT又はT-spotのいずれかが陽性で、診断した医療機関から発生届が出された方をいいます。
3. 結核発病のおそれがある者とは「医師による直接の医療行為は必要としないが、定期的に医師の観察指導を必要とする者」をいいます。
4. 『対象者数』等は、産休・育休・病気休暇中のため受診していない方を除いてください。
5. 対象となる方に未受診者がいる場合は、その理由をご記入ください。
個人で人間ドックや住民健診等を受診した方も、健診結果の報告を受けた場合は、受診者として計上してください。

<実施結果>

		職員 (人数)
対象者数		10人
受診者実人数		7人
検査別受診数	X線検査受診者数	7人
	喀痰検査受診者数	人
	QFT検査受診者数	人
	T-SPOT検査受診者数	人
	その他()検査受診者数	人
被発見者数	発見した結核患者の数	0人
	潜在性結核感染症患者(※)の数 (※ QFT, T-spot いずれかが陽性)	0人
	結核発病のおそれがあると診断された者の数	0人

【未受診者がいる場合その理由】
(産休・育休・病気休暇中の者を除く)

妊娠中 1人
兼務者が他勤務先で受診 1人
病気治療でX線検査を受診 1人

未受診者がいる場合は、必ず記入してください。

「未受診者」の考え方

○産休・育休・病気療養中などで、他の職員と日常的に接触しない職員は対象者に含めない。
→対象者数から除き、未受診理由は不要

○職場の健康診断は受けず、人間ドック等で自己管理している場合。
→受診結果の報告を受けた場合は職場健診を受けた方と同様に「受診」として扱う。

受診結果の報告がない場合、未受診(理由:『人間ドック結果報告なし』など)を記載する。

【報告内容に変更がある場合】

いずれかの方法でご提出ください。

- ① 報告書を差替える。
上部余白に「差替」と記載してご提出ください。
- ② 既報告に追加する。
上部余白に「追加」と記載して、追加分の人数のみ計上してください。